

全国安全週間説明会が開催されました

令和6年6月6日（木）に、クロスランドおやべにおいて、安全週間説明会が開催されました。

全国安全週間 とは
労働災害を防止するために産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的として、毎年実施されている取組です。
本年は、

危険に気付くあなたの目

そして摘み取る危険の芽

みんなで築く職場の安全

をスローガンに、7月1日（月）から7月7日（日）までを全国安全週間、6月1日（土）から6月30日（日）までを準備期間として実施されています。

安全週間説明会の開催

砺波市、小矢部市及び南砺市の事業場を対象とし、砺波地域労働災害防止団体連絡協議会の主催、砺波労働基準監督署の後援により、全国安全週間説明会が開催されたところ、事業場担当者約200名が出席されました。



全国安全週間説明会の様子

開会にあたり、一般社団法人富山県労働基準協会砺波支部 吉川支部長からご挨拶をいただきました。

その後、砺波労働基準監督署長の山越から、労働災害防止を少しでも減らし、労働者一人一人が安全に働くことができる職場環境を築くために、労使一丸となって継続し粘り強く取り組んでいくことが重要であると挨拶させていただきました。

次に、砺波労働基準監督署監督・安衛課長の谷川から、全国安全週間における実施事項について説明させていただきました。

特別講演として、富山産業保健総合支援センター産業保健相談員の小松紀美子先生から「ヒューマンエラーを考える」を演題にご講演をいただきました。



小松先生 特別講演の様子

本説明会に参加された事業場の皆様、ありがとうございました。

砺波労働基準監督署は、引き続き、労働災害防止・適正な労働条件の確保などについて、取り組んで参ります。